

6月は環境月間です

6月5日は「環境の日」です。また、6月は環境月間として、全国各地で環境問題に対する関心や理解を深めるための行事や活動が行われます。皆さんもこの機会に、環境について考え、身近な暮らしの中で環境にやさしい行動を実践してみましょ。

今回は、家庭で簡単にできる『省エネ（節電）』について紹介します。3月に発生した東日本大震災の影響により、電力をとりまく環境は大変厳しい状況とされています。少しでも『省エネ（節電）』に努力することが、被災地の復興や電力供給の安定化、ひいては地球温暖化防止につながります。

家庭の中で特に消費電力量が多いのは、エアコン、冷蔵庫、照明、テレビの4つです。

これらをはじめとする家電製品を上手に使うことで、効果的に節電することができます。次の**7つのポイント**を意識しながら、できることから実践してみましょ。



① こまめにスイッチオフ

照明も家電製品も本来に必要な時だけ使い、使わない場合はこまめにスイッチを切りましょ。

② 待機電力をあなごるな

年間通じて家庭で消費される電力量のうち、待機時消費電力は約6%を占めます。プラグを抜くのが面倒だという人は、「スイッチ付きタップ」などがおススメです。

③ エアコンは室外機も見がすな

冷房時の室温は、28℃を目安に設定しましょ。フィルターのこまめに掃除したり、室外機の周りに物を置かないことも消費電力量の削減につながります。

④ 冷蔵庫は詰め込まない

冷蔵庫の開閉が多いと冷気が逃げて消費電力量が増加します。また、物を詰め込みすぎると、冷気の流れが悪くなるほか、庫内の見渡しが悪くなるため、ドアの開閉時間が長くなる原因になります。

⑤ 照明はこまめにオフ

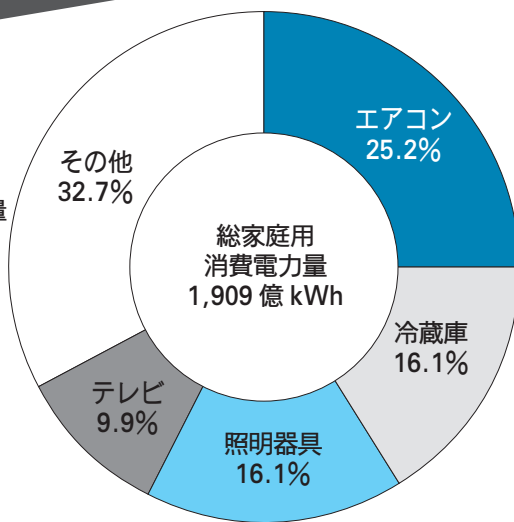
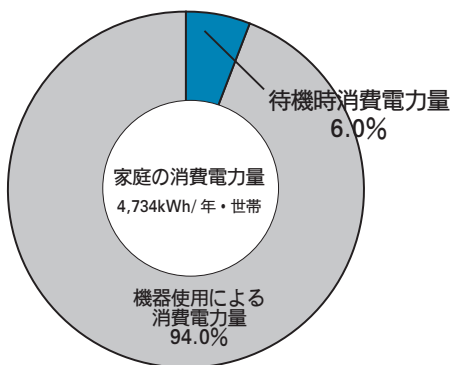
リモコン機能（点灯・消光・調光など）を使用中は約1ワットの電気を消費します。壁スイッチの電源を切る習慣をつけましょ。また、省エネ型の照明器具（インバーター式など）への買換えもおススメです。

⑥ テレビは明るさ調節

テレビを消すときは、本体の主電源を切りましょ。テレビの画面は静電気ではほりがつきやすく汚れやすいので、1週間に1度くらい画面の掃除をすれば、明るく、きれいな画面で楽しむことができます。

⑦ 生活スタイルを見直して節電

早寝早起きは、夜の消費電力量を抑え、節電につながります。また、家族ができるだけ一か所で生活する機会を増やすことで、照明やテレビ、エアコンなどの節電にもつながります。



■本市の環境月間中の取り組み

- ・市内一斉清掃 6月5日(日) ※地域により異なります。
- ・夏の軽装（クールビズ） 5月1日(日)～10月31日(月)まで
- ・干潟観察会 6月4日(土) 13時30分から（場所：大島干潟）
- ・犬のふん害防止パトロール・不法投棄
- ・野焼き監視合同パトロール
- ・公害防止パトロール

問合せ
環境課
☎ 33-4114